

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	村石、小林
	全体計画			経費区分	-	内線	3137、3139
事務事業名	4044 地域活性化事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	07023900 特色をいかした地域振興の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費					
	事業	010000 地域活性化事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市に しかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し 、須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすとと もに市民の誇りや地元愛を醸成する。				「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まち ウォーク）」により地域資源を全国にPRする。 また、「STVすこうチャンネル番組」により市民の誇 りや地元愛を醸成する。 「クリスマスレクチャーin須坂」の開催により科学等 の面白さを地域に広めるとともに、参加者の交流を深 める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
「まち歩き」誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」の運用等による情報発信、「結婚相談事業」の委託や「クリスマスレクチャーin須坂」の開催等により、地域活性化を図った。	「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」による情報発信や「結婚相談事業」の委託、「クリスマスレクチャーin須坂」（科学を中心に各分野から著名な方を招いて講義を行う）の開催等により、地域の地域活性化を図った。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」による情報発信や「結婚相談事業」の委託、「クリスマスレクチャーin須坂」（科学を中心に各分野から著名な方を招いて講義を行う）の開催等により、地域活性化を図る。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	須坂まちウォーク				
算式	ダウンロード数				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	800	900		
	実績	613			
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名	クリスマスレクチャーin須坂				
算式	参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	1,020	1,100		
	実績	809			
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		6,997	10,946
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	1,235
	地方債	0	0
	その他	254	3,000
一般財源		6,743	6,711
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.5	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,331.4	4,331.4
	嘱託職員	1,377.5	1,377.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,708.9	5,708.9
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		12,705.9	16,654.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	135	謝礼
11節 需用費	5	消耗品
13節 委託費	5,466	地域情報チャンネル番組制作、須坂まちウォーク運用、結婚相談事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,300	「クリスマスレクチャーin須坂」実行委員会負担金
その他	91	費用弁償、郵便料

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	50	謝礼
11節 需用費	0	
13節 委託費	6,846	STVすこうチャンネル番組制作、須坂まちウォーク運用 結婚支援事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,000	「クリスマスレクチャーin須坂」実行委員会負担金
その他	3,050	費用弁償 地域づくり団体等活動支援貸付金

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地域を活性化させるためには、須坂の魅力ある様々な地域資源を市内外に情報発信することが必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	「須坂まちウォーク」の運用など各種事業を通じて地域資源を発信することにより、須坂市の様々な魅力を市内外にPRできている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	須坂まちウォーク」のコストを見直し、委託料を削減している。 STVすこうチャンネル番組制作や須坂まちウォークの運用、結婚相談事業については、業務を委託し、事務の軽減を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

PR事業等により須坂の認知度向上のために全国へ情報発信を行っているが、今後も地道に須坂をPRする必要がある。また、遠藤守信信州大学特別特任教授プロデュースによるクリスマスレクチャーにおいて、地域や地元高校生との関わりを大切にしながら、文化都市須坂としての意識の高揚を図ることは、今後も引き続き行っていく必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域情報チャンネル番組の制作等により、須坂の様々な地域資源を市内外にPRすることができた。		「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まちウォーク）」により須坂市の様々な魅力を市内外にPRしていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	